

平成30年度 障がい者就労支援セミナー 実施報告

障がい者を雇用し、定着させるためにはどのような取り組みが必要となるのか？

公益社団法人広島ビルメンテナンス協会では、平成30年12月12日（水）に、障がい者就労支援セミナーを開催しました。

セミナーは、ビルメンテナンス企業の代表者、採用担当者および教育担当者を対象に行われ、障がい者就労移行支援施設の方から「障がいの特性と留意点」についてご説明いただき、その後、障がい者雇用実績のある企業担当者から「主に清掃業務において苦勞したことや創意工夫など」について事例発表をしていただきました。

セミナー冒頭に、広島ビルメンテナンス協会 若杉理事から、「民間企業における障がい者法定雇用率の引き上げと、障がい者雇用義務の拡大を踏まえ、民間企業はこれまで以上の努力が必要となる。本日ご参加いただいた皆様には、障がい者の職場定着や今後障がい者雇用を進める際の参考としてほしい」との挨拶があり、その後、障がい者就労移行支援施設「社会福祉法人みどり会」から、障がいの特性と留意点について経験を交えた説明をしていただき、その後、「株式会社オンザライズ」、「広島県ビルメンテナンス協同組合」から、障がい者雇用に取り組むきっかけや失敗・成功事例を発表いただきました。

セミナー出席した企業の採用担当者は「障がい者を雇用進めていくうえで、貴重な事例を聞くことができた」と話されていました。

障がい者就労支援セミナー

開催日 平成30年12月12日（水）15時00分～16時30分

場所 広島ビルメンテナンス会館 研修室（広島市西区己斐本町2-19-3）

内容・講師 障がいの特性と留意点

社会福祉法人みどり会

飯田 芳幸 氏

障がい者雇用企業からの事例発表

①株式会社オンザライズ

甲村 健治 氏

②広島県ビルメンテナンス協同組合

村上 哲 氏

参加者 広島ビルメンテナンス協会員及び

ビルメンテナンス関連企業・関係者

38名

